YAWARAGI NEWS
和
やわらぎ

発行所
株式会社 斎藤工務店
TEL 023(681)7558
FAX 023(681)7559
発行責任者
斎藤恵美子

騒音・国道沿いでも気にならず！

山形市南原 稲垣卓次

FPの家

FPの家にして、冬期間にお客様が玄関に入ると、先ず「暖かい」というのが第一声です。

キッチン、ダイニング、リビング、ホール階段と三階まで吹き抜けになっておりますが、どこを歩いても均一に暖かいことです。

まえの家では、朝起きるとストーブの前で、着替えをしておりましたが、FPの家では、蓄熱暖房で暖かいので、厚着をしなくても過ごせます。何よりも結露がないのが大変助かっています。

三月十一日の東日本大震災の時は、揺れも少なく

家を点検しましたが、異状ありませんでした。これもFPの家の基礎がしっかりしているからだと思いました。

また、昨年の夏は、三五度以上にならない限り、エアコンをつけずに扇風機一つで過ごせました。

それから、わが家は、国道沿いにありますが、気密の設計になっているので騒音も気にならず、大変助かっております。

わが家も、完成してから早いもので、昨年の十月で三年になりました。お陰様で、毎日快適に過ごしております。これもFPの家と、斎藤工務店さんの皆様のお陰と感謝しております。今後とも末永く宜しくお願い申し上げます。

新しい判断と行動が必要

〝長寿命化リフォーム〟が重視される

昨年は、皆様方には色々とご支援、ご指導をいただき、大過なく過ごすことが出来ましたことに心より感謝申し上げます。今年も変わらぬご支援、ご指導のほど宜しくお願い申し上げます。

昨年は大変な年でありました。三月十一日の東日本大震災、福島第一原発の事故、秋には台風による被害が相次いだ二〇一一年でありました。そして、こうした災害により、これまでの通説や常識が通用しなくなり、新しい判断と行動が求められております。被災地の復旧・復興だけでなく、我々の周辺においても、地域に根差して取組、工法、住宅の省エネと併せ、必要なる耐震性の強化を考えていかなければならないと考えます。また、リフォームに対する考え方も、耐震、省エネ、バリアフリーだけではなく、劣化対策などを施すことにより、既存住宅を良質な状態に保ち、資産価値を高めることは、資源の有効活用、環境負荷の低減に繋がるという〝長寿命化リフォーム〟が新しいあり方として重視されてまいります。このような住まいへの改修工事が重要視されるなかで、人から信頼され、地域で安心して任される工務店でなければと考えます。お客様にご満足いただける工務店を目指して、社員一同、心を一つにして頑張ってまいる所存でありますので、今後とも変わらぬご支援とご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。最後に

皆様のますますのご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。

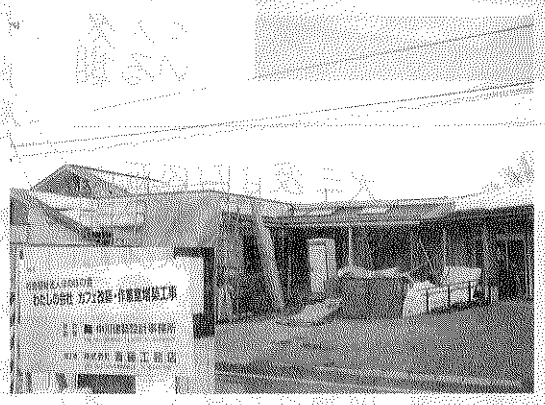
㈱斎藤工務店
代表取締役 斎藤和明

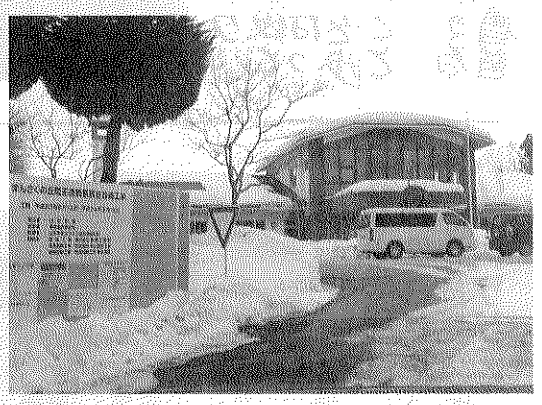
Original Frame & Urethan Panel
F&P FPの家
ウレタン断熱のパイオニア
FPグループ
ホームページアドレス
www.fp-group.gr.jp

TOTAL CONSTRUCTION
超高断熱・超高気密・省エネ住宅事業部
㈱斎藤工務店
〒990-0882 山形市大字陣場新田26番地
TEL.(023)681-7558 FAX.(023)681-7559
http://www.fp-saito.co.jp E-mail:info@fp-saito.co.jp
「FPの家」についてのお問い合わせは当社までどうぞ！

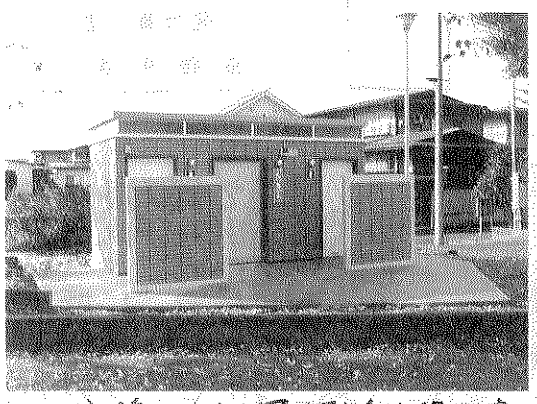
わが社自慢の施工例

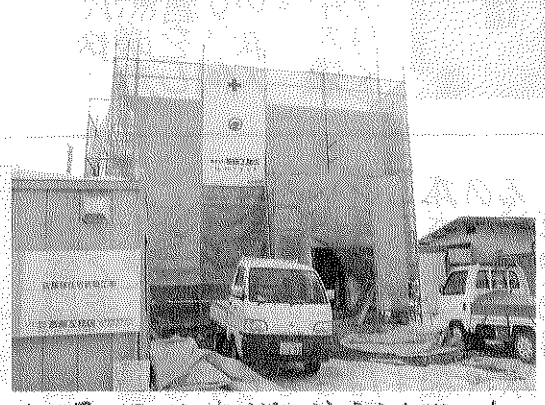
めでたく完成を迎えられました施主の皆様　本当におめでとうございました。これからも住まいを通じて、末長いお付合いをよろしくお願い申し上げます。





○あかねヶ丘　庄司様　住宅改修工事　○鳥居ヶ丘　はのばの会様　増改修工事　○まんさくの丘蔵王通勤療居室改修工事





○山形市篭田中央公園　便所改築工事　○飯塚町　佐藤様　住宅新築工事

住まいのリフォーム
ライフモア
リフォーム事業部
詳しくは当社にお問い合わせ下さい。
TEL.023-681-7558
FAX.023-681-7559
http://www.fp-saito.co.jp
E-mail:info@fp-saito.co.jp

ライフモア通信

昨年は、春のイベントとして「宿根草のガーデニング教室」、秋のイベントとして「初めての絵手紙教室」どちらも初めての試みでしたが、参加された皆様には、大好評でした。今年もいろいろなイベントを企画したいと思いますので、是非参加してみて下さい。

災害と節電

(有)三協電気工事
佐竹弘雄

東日本大震災から、早いもので一年が経過しようとしています。昨年四月、大船渡の仮設住宅電気工事に向かう途中、陸前高田を通過した際の悲惨な光景は、画面では知りえない、生涯忘れてはならないものでした。

天災は、どこに住んでいても避けられるものではありません。今回の震災を、対岸の火事と思わないように、日頃から心掛けたいと思います。

昨今、地球温暖化によると思われる集中豪雨、異常気象は、毎年のように発生するようになりました。この事に、私達が生活している中で、多少にかかわらず、影響を及ぼしていると思われます。更に原子力発電事故による電力不足が起りました。住宅環境に於ける節電も余儀なく、各ご家庭の実践が求められています。高断熱、高気密、省エネ住宅を基本に、エコキュートや、大陽光発電システムで、エコで快適な住環境を実現していただきたいと思います。私も、電気設備に係る一員として、省エネでエコな設備を提案できればと思います。そこで、毎月の「電気ご使用量のお知らせ」を活用して見てはいかがでしょうか。節電した分は、お母さんの小遣い。お父さんの晩酌一本など、楽しみながらの節電もできます。子孫にも、より良い環境を残すためにも、先ずは、白熱電球から、LED交換から始めてみませんか。

編集後記

例年にない豪雪となりました。また、震災から一年を迎えようとしています。穏やかでありますように、柏手にも力が入ります。